



# 平成30年度 土佐厚生会事業計画

土佐厚生会 .....	1
障害者支援施設こくふ .....	1 4
障害者支援施設あき .....	1 5
障害者支援施設とさ .....	1 6
特別養護老人ホーム八流荘 .....	1 7
デイサービスセンターやながれ .....	1 8
ホームヘルプステーションやながれ .....	1 9
小規模多機能型居宅介護事業所南風 .....	2 0
在宅介護支援センターやながれ .....	2 1
就労継続支援B型事業所ウィール社 .....	2 2
就労継続支援B型事業所カトレア .....	2 3
就労継続支援B型ワークセンターファースト .....	2 5
障害者福祉ホームコーポラスこくふ .....	2 7
相談支援センターアルペジオ .....	2 8
国府寮診療所 .....	2 9
安芸療護園診療室 .....	2 9

# 土佐厚生会

理事長 藤田久雄

国の 2018 年度予算と社会保障関連について、日本は 2007 年にすでに超高齢社会（総人口に対して 65 歳以上の高齢者人口が占める割合が 21%を超える）に突入しているが、2025 年には団塊の世代（第一次ベビーブーム時代の 1947 年～1949 年に出生）が全て 75 歳以上、4 人に 1 人が後期高齢者となり、介護人材は 38 万人が不足するなど、医療・介護費用も急激に増加する。

平成 30 年 2 月 3 日の日経新聞に、みずほ証券の早乙女輝美氏による国の歳出に対する予測記事が掲載されていた。2022 年ごろから国債費（国債を発行し、積み上げてきた借金の返済と利払いの合計）が急上昇していく。社会保障の 2025 年問題に加え、金利でも 2025 年問題とも言うべき事態を警戒すべきだと指摘、国債費の伸びが社会保障費の伸びを上回り、国の借金返済が最大の経費になるとの内容であった。2018 年度の国債費予算では 23 兆 3020 億円と歳出総額の 23.8%を占める。

内閣府の試算によると社会保障費を上回るペースで増えるのが国債費で 16 年から 27 年までの国債費の増加額は 16.3 兆円と社会保障費の 11 兆円を上回りそうだという。このテンポが続くと 30 年を待たずに増加額だけではなく、実際の歳出額でも国債費が社会保障費を上回る可能性もあるという。利払い費が膨らみ続けるのは、日本経済の成長に伴い金利も上昇することによる。財務省が国会に出した資料によれば平成 21 年度に名目の経済成長率が 2%、長期金利も 2%伸びた場合、国債費が 7 兆円近く増加し、税収の伸びを大きく上回ってしまうとのこと。現在は日銀による大規模緩和で異例の低金利が続き利払い費の伸びは鈍っているが予断を許さない。

消費増税は 2 度延期されてきたが、2018 年度予算案の一般会計の歳出額は 97 兆 7128 億円と平成 17 年度当初予算（97 兆 4547 億円）を 2581 億円上回り 6 年連続で過去最大を更新、社会保障費は 4997 億円増の 32 兆 9732 億円。北朝鮮の脅威等に備えた防衛費は 660 億円増の 5 兆 1911 億円。国債費 23 兆 3020 億円は金利低下を受けて 2265 億円の減。借金で歳出をどれだけ賄っているかを表す国債依存度は 34.5%と 0.8 ポイントの低下、税収で国債費を除く政策経費をどれだけ賄えるかを示すプライマリーバランス（基礎的財政収支）は 10 兆 3902 億円の赤字と前年度より 4511 億円改善するが水準自体が高い。経済ジャーナリストの財部誠一氏が管理する平成 30 年 2 月 26 日時点での日本の借金時計の額は 1084 兆円を超えていた。財政再建への道は非常に険しい。（日経新聞より記事部分抜粋）

平成 29 年 6 月 10 日に、当法人も社会福祉法人制度改革に伴う新たな評議員会を開催した。社会福祉法人の多くはこれまでも、諮問機関としての評議員会を設置し、地域の方々や福祉関係者の皆様のご意見を運営に反映させる取り組みを進めてきたが、公益を目的とした公共性の高い民間の非営利法人であることから、サービス提供事業の結果生じた利益は、株式会社のように配当として外部に分配などはできない。社会福祉法人の利益は全て社会福祉事業や公益事業に充てられることになっている。

今回の社会福祉法人制度改革には5つの背景があり、一つ目は、経営組織のガバナンスの強化。小規模法人を除けば、諮問機関としての評議員会ではなく、議決機関としての評議員会が必置になったと共に、一定規模以上の法人に対する会計監査人の導入がある。二つ目は、事業運営の透明性の向上。財務諸表・現況報告書・役員報酬基準等の公表に係る規程の整備など。三つ目は、財務規律の強化として適正かつ公正な支出管理・いわゆる内部留保の明確化。社会福祉充実残額の社会福祉事業等への計画的な再投資。四つ目は、地域における公益的な取り組みを実施する責務。そして社会福祉事業及び公益事業を行うに当たって、無料または低額な料金で福祉サービスを提供することを責務として規定されている。五つ目は、行政関与の在り方。所轄庁による指導監督の機能強化、国・都道府県・市の連携等が挙げられる。

つまり、地域の福祉ニーズが多様化・複雑化するなか、社会福祉法人は、福祉サービスの中核的な担い手として、これまで以上に地域社会に貢献していく必要があると共に、公益性・非営利性を持った組織として、運営の透明性を確保することや組織経営のガバナンスを強化していくことが強く求められている。

我々事業者は、常に時代の流れや社会的価値の変化に対応してゆくマネジメント能力を備えておかななくてはならず、2018年度も昨年に引き続き、次世代リーダーへの人材育成力の向上をすすめるべく、総合的な研修体系の確立を重点課題として目標を掲げている。リーダースタッフ自らが克己心を持ち、時代環境に即した継続の学びを旨とし、これらを通して地域の方々からの信頼を維持し続けること、そしてこの人材不足の時代においても、プロの支援者としての信念をもった人達であふれている、そんな土佐厚生会であることを旨とする。新年度も関係者が一丸となって、更なる土佐厚生会を創造するために、活気のある組織づくりを目指し、常に挑戦して行かなくてはならない。

## I 会是

### 愛情

わたくしたちは 常に環境に優しい 人間に優しい心をもって本業につとめます

### 奉仕

わたくしたちは 自由な意思と自発性をもち 福祉の実践に取り組み 福祉社会の実現に努力します

### 連帯

わたくしたちは 高齢者や障がい者などが同じ社会の一員として とともに住める豊かで明るい社会づくりを目指します

## II 経営理念の役割と管理者の使命

施設長自らの言葉で伝え、スタッフに寄り添えるリーダーをつくれ

「会是」とは、施設の存在意義と共通の価値観である。つまり経営理念は、法人を

設立した目的や動機を示し、各施設が目指すべき方向、達成にむけた目標やその姿を象徴したものである。当法人の福祉事業の現場において、業務マニュアルは存在するが、多様化されたサービスに対応するための細部にわたるマニュアルの作成などは到底困難であり、業務に携わるスタッフがその時々に応じて自らの決断を迫られる場面に遭遇することが考えられる。利用者様・ご家族に対して、正しい対応ができているのか、会是（法人・施設の理念）に沿った支援行為であるのか。など、スタッフ一人ひとりの拠り所となるものが、会是である「愛情」「奉仕」「連帯」三つの基準である。

この経営理念に基づき、スタッフの活動方向と判断基準を同じ方向に展開（スタッフの英知を結集）することにより、利用者様や地域社会に対して良質なサービスを効率良く提供することが可能となる。経営理念は、一人ひとりのスタッフがしっかりと認識して初めて意義を持つことから、管理者は俯瞰力（高い視点から広く見渡す力）を持って、スタッフに納得性のある内容や方法で効果的に伝達、明示することが重要となる。各部署リーダーの率先垂範と継続的なスタッフへの浸透活動、一人ひとりの理解が現実に深まる取り組みや、重要な意思決定に迷った場合に、会是三つの基準を思い起こすことができるための取り組みを実施する。

#### 介護のおしごと

わたしは 資格もないし 引っ込み思案で 不器用だから  
おとなの人と お話したことも ほとんどないから  
何も わからなくて 質問することさえできない  
このまま ひとりぼっちになりそう  
ここで 何でも話せる友達は・・・  
ちょっと 話しづらい ベテランの先輩・・・  
今日も 利用者さまから しかられた・・・  
先輩から あれほど 注意を受けたのに また 同じ失敗をしてしまった  
あれから 利用者さまは 口を聞いてくれない  
どうしよう  
わたしには やっぱり 無理だった 介護のおしごと

hisafuji

※ 初めて介護の仕事に携わってみると、自分自身が思っていた以上に緊張感と支援の難しさを痛感してしまう。利用者様からのお叱りや苦情に、自らの未熟さを痛感し、誰にも相談できずに自分自身を追い込んでしまうスタッフがそこにいる。ひとりの介護スタッフの退職理由をただ単に本人の力量不足や自己都合によるものとして、安易に片付けてしまうような組織体質に至っては、事業所の存続はあり得ない。職場風土そのものに離職要因があるとしたら、その事業所はやがて淘汰されていけよう。

### Ⅲ 基本方針

#### 1 経営理念の再認識と浸透活動

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、福祉サービスを必要とする利用者様が、地域社会の一員として、社会・経済・文化活動等に参加をし、有する能力に応じた日常生活を営むための適切な支援を行い、安全で安心できる良質なサービスを継続的かつ安定的に提供できるよう、活気のある経営を進める。

#### 2 労働環境の適正化と組織の安定化 ～ 効果的な広報戦略

社会福祉法人制度については、税制上の優遇措置にふさわしい地域貢献や運営の透明化等についての具体策が義務付けられていることから、社会福祉法人を巡る昨今の情勢を理解し、公益性に相応しい体制の整備、健全な組織運営を維持するためのガバナンス強化、透明性を高めた積極的な情報公開を進めるなど、効果的かつ公益的な組織運営を展開する。

#### 3 良好なコミュニケーションづくりとリーダー人材のレベルアップ

社会福祉法人が広く国民からの信頼を得るためには、関係諸機関及び地域住民との更なる連携を図り、施設の専門的知識や機能を可能なかぎり社会に還元する必要がある。制度の谷間で顕在化された地域の課題に挑戦し、サービスと組織全体の改善を行うなど、常に改善に取り組む組織文化の構築を進めながら、地域関係者との信頼の積み上げを図る。

#### 4 適切な研修体系 ～ スタッフの能力発揮と成長機会の提供

社会福祉施設は、利用者様の立場に立った良質かつ適切な福祉サービスを提供するため、常にサービス内容の見直しを図り、不適切な支援の防止に努めなくてはならない。利用者様の安全と労働災害の防止、労働生産性の向上（※ 提供するサービス内容の簡素化や質の低下を除く）など、役職員の活動方向と判断基準の一体化を進める。キャリアプランの明確化を図り、関係者一人ひとりが共有された組織の中で、発想の転換と創意工夫を重ね、英知を結集できる組織づくりを推進し、働きがいのもてるより良い職場風土の醸成を図る。

#### 5 学校・養成校への周知と関係づくり ～ 克己復礼

管理者は、絶えず変化していく社会情勢のなかで、必要な知識と技術の習得など、継続的な学びは勿論のこと、常に改善を進めていく土壌を築く実行力が必要となる。有する専門性とリーダーシップを発揮しながら、積極的に福祉人材やボランティアの育成に努めるとともに、関係諸機関との連携を図り、地域を支える主たる役割を担うなど、常に実践を重ねながら自身の人間力向上を図る。

## IV 平成 29 年度 土佐厚生会研修委員会

### 1 平成 30 年度 法人内部研修コンセプト

平成 26 年度から体系を整備して実施している法人研修。法人職員の自覚が芽生え、研修に対する意識が高まった現在、研修に関するアンケートを職員に実施。平成 30 年度の研修は、このアンケート結果を反映した「専門性の向上」「職場研修の強化」「フィードバックの充実」をコンセプトに実施する。

このコンセプトにより、「価値を共有する法人全体研修」「知識と技術を高める職場研修」「自身がキャリアパスを描ける為の自己啓発支援」の研修形態にて平成 30 年度の法人研修計画とする。

### 2 コンセプトの詳細

#### (1) 専門性の向上

本人の専門性を高める為の知識・技術の習得希望が多かった。そのため、専門性向上を目的として「知識・技術の習得研修の開催・派遣」「法人の専門職会」「専門性を高める資格取得支援」を実施して、個人の専門性を高める。

#### (2) 職場研修の強化

単一事業所のみ要望の多い研修内容があり、このような場合、各職場で直面している問題に関する事が多かった。そのため、該当事業所にて職場研修や OJT を実施、問題解決等に繋げることで職員のモチベーションを高める。

#### (3) フィードバックの充実

参加した研修のフィードバックが充分ではないという意見も多かった。フィードバックは、報告書や職員会にて実施しているが充分ではない。そのため、フィードバックの充実を図り、法人内で共有することで、研修効果を高める。

### 3 法人全体研修

#### (1) 集合研修

名 称	主 な 対 象	時 期 ・ 講 師 (主 催) ・ 備 考
先進企業視察	①勤続 3 年以上 ②未参加者	時期：10 月に 3 日間
ビジネスマナー	全職員のうち受講希望者	時期：希望数により 1 回以上

#### (2) 階層別研修

名 称	主 な 対 象	時 期 ・ 講 師 (主 催) ・ 備 考
新採	新規正採用	時期：①法人基礎研修 4 月に 6 日間 ②介護技術研修 4 月に 8 日間 ③介護現場実習 4 月～5 月に 5 日間 ④新社会人フォローアップ 7 月ごろ 1 日 ※新社会人以外は上半期人事考課時

初級	採用3年以内	時期：6・8・9・10・11・1・3月 主催：高知県経営品質協議会(KQN)
中級	初級参加者以外	時期：8・9・10・11・3月 主催：高知県経営品質協議会(KQN)
中間管理	①中間管理職 ②5～6等級	時期：①考課者研修2回 9月・3月 ②スキルアップ研修1回 下半期 主催：外部講師招聘 備考：管理職との合同研修
管理 2組3回	①管理職 ②7～8等級	時期：①考課者研修2回 9月頃・3月頃 ②スキルアップ研修1回 下半期 ③施設長実学講座5回(講座内容により参加) 講師：外部講師招聘、福祉施設士会の研修参加 備考：①②は中間管理職との合同研修

### (3) 専門職会

名称	趣旨・対象・実施
介護保険事業所会	趣旨：法人内の介護保険各事業所職員間の情報共有・専門性向上 対象：八流荘(特養・短期)、やながれ(在介・デイ・ヘルプ)・南風 実施：毎月1回程度・老施協の研修参加など
就労支援事業部会	趣旨：法人内の就労支援事業所職員間の情報共有・専門性向上 対象：ファースト・ウィール社・カトレア・ファーマニー 実施：三ヶ月に1回程度・セルプ協の研修参加など
栄養士会	趣旨：法人内の栄養士の情報共有・専門性向上 対象：八流荘・あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度・食と栄養の会の研修参加など
PT会	趣旨：法人内の理学療法士の情報共有・専門性向上 対象：八流荘・あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度・理学療法士会の研修参加など
入所相談員会	趣旨：法人内の入所施設相談員の情報共有・専門性向上 対象：八流荘・あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度
入所サビ管会	趣旨：法人内サービス管理責任者(介護)の情報共有・専門性向上 対象：あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度
介護職員会	趣旨：法人内の介護職員の情報共有・業務標準化・専門性向上 対象：八流荘・デイやながれ・ヘルプやながれ・南風・あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度

事務職員会	趣旨：法人内の事務職員の情報共有・業務標準化・専門性向上 対象：法人本部・やながれゾーン・こくふゾーン・とさゾーン 実施：三ヶ月に1回程度
看護師会	趣旨：法人内の看護師の情報共有・専門性向上 対象：八流荘・デイやながれ・あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度・看護師会の研修参加など
生活支援部会	趣旨：法人内の障害者支援施設の情報共有・各種マニュアル整備 対象：あき・こくふ・とさ 実施：三ヶ月に1回程度・身障協の研修参加など

※研修委員会は、専門職ではないので上記していないが、委員会継続。

#### 4 職場研修

##### (1) 介護技術研修

専門職会(介護職員会)が、法人内の介護技術の標準化を目的として研修内容を企画。介護職員会メンバーを中心に所属ゾーンで実施。介護技術の標準化にあたり、標準のモデルは介護職員初任者研修のテキストによる。

名 称	趣旨・対象・実施
介護技術	趣旨：介護職員の技術標準化・異動時の負担軽減 対象：介護職員 実施：研修の内容・時間は統一、他は各事業所の裁量

##### (2) 虐待防止研修

各ゾーンの虐待防止委員会が、各ゾーンで啓発したい虐待防止テーマに沿って研修を企画。虐待防止委員会メンバーを中心に所属ゾーンで実施。各ゾーンで実施した内容を研修委員会で報告、効果的な内容を所属事業所にフィードバックを行い職場研修の相互レベルアップを図る。

名 称	趣旨・対象・実施
虐待防止	趣旨：虐待の防止 対象：全職員 実施：虐待防止委員会の裁量

##### (3) リスク対策研修

各ゾーンのリスク担当が、様々なリスクに対する訓練・研修を企画。各事業所で実施した内容を研修委員会で報告、効果的な内容を所属事業所にフィードバックを行い職場研修の相互レベルアップを図る。根拠法に基づき実施義務がある訓練は実施必須。

名 称	趣旨・対象・実施
火災対策	趣旨：事業所の火災に備えた訓練・火災発生防止対策の啓発 対象：全職員 実施：根拠法に基づきリスク担当の裁量

地震対策 ※土砂・水害 含む	趣旨：大規模地震に備えた訓練・事業継続と避難所運営の検討 対象：全職員 実施：根拠法に基づきリスク担当の裁量
防犯対策	趣旨：不審者対応等、主に人災に備えた訓練・防犯対策の検討 対象：全職員 実施：リスク担当の裁量
感染症対策	趣旨：季節流行の感染症を中心に感染対策の検討と啓発 対象：全職員 実施：所轄保健所の指導に基づきリスク担当の裁量
事故対応	趣旨：介護事故や労災の防止対策・発生時対応の検討と啓発 対象：全職員 実施：根拠法に基づきリスク担当の裁量
リスク基礎	趣旨：採用職員に感染・事故のリスクを説明、発生時の不安軽減 対象：採用した職員 実施：根拠法に基づき採用後2週間以内にリスク担当又は上司

#### (4) 必置資格取得研修

専門職会(介護保険事業所会・就労支援部会・生活支援部会)が、各事業で必置資格の取得者の増員を計画。「キャリアパスの選択肢を増やす」「知識に深みを持たせる」「急な人事異動への備え」を増やす事を目的とする。

名 称	趣旨・対象・実施
必置資格取得	趣旨：資質向上 対象：研修受講の有資格者 実施：研修機関

#### (5) 外部研修

各専門職会や各事業所が、職員の資質向上を目的として外部研修参加を計画。参加した職員の報告に基づき、事業所や法人内の同種事業所等にフィードバックを行う。

名 称	趣旨・対象・実施
資質向上	趣旨：専門の知識と技術を中心とした資質向上 対象：全職員 実施：所属団体・専門資格団体・行政・外部研修機関 ※県外の外部研修は少数で参加、法人内フィードバックを基本

#### (6) 事業所特化研修

各事業所が次年度研修アンケートに基づき、自事業所で要望が多かった研修内容の研修実施や外部研修に派遣する。各事業所で実施した内容を研修委員会で報告、必要に応じてフィードバックを行い職場研修の相互レベルアップを図る。

名 称	趣旨・対象・実施
事業所特化	趣旨：専門の知識と技術を中心とした資質向上 対象：全職員 実施：各事業所

## 5 自己啓発支援

業務命令による研修参加ではなく、本人希望による研修参加や資格試験の勉強等の自己啓発に対して、可能な範囲で業務配慮を行う。

### (1) 介護職員初任者研修

法人の介護職員初任者研修事業の担当が、介護職の専門化・法人が有する社会資源の地域還元を目的として実施。受講者の専門性向上と共に講義内容を介護業務の標準化に使用する。

名 称	趣旨・対象・実施
介護職員初任者	趣旨：介護職の専門化・地域還元 対象：受講の有資格者 実施：法人の介護職員初任者研修事業 時期：8月～翌2月 場所：モデルハウス

### (2) 自己啓発の支援

各事業所が、自己啓発として取り組んでいる職員に対し、法人の規程に基づいて試験日や試験勉強の配慮等の支援を行う。

名 称	趣旨・対象・実施
法人奨励資格の取得支援	趣旨：自己啓発の支援 対象：介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士・介護支援専門員 実施：身上調書や人事考課面接時による本人希望に応じて
本人希望の自己啓発の配慮	趣旨：自己啓発の支援 対象：法人奨励資格以外の自己啓発 実施：身上調書や人事考課面接時による本人希望に応じて

## V 経営する社会福祉施設のプロジェクト関係

### 1 やながれ福祉施設センター

各事業所の大規模改修等に係る調査研究及びプロジェクトマネジメントの継続

社会福祉事業	介護老人福祉施設	八流荘
	デイサービスセンター	やながれ
	在宅介護支援センター	やながれ
	短期入所生活介護事業所	八流荘
	ホームヘルプステーション	やながれ
	障害者支援施設	あ き
公益事業	安芸療護園 診療室	

- ・行政、地域との共働  
「プロジェクトチーム（関係諸機関・地域関係者・土佐厚生会役職員で構成）」  
平成 26 年 8 月 16 日 発足  
平成 30 年 4 月 改選
- ・事業計画・予算作成（助成金活用）・資金調達（福祉医療機構、民間金融機関）
- ・予算管理・契約管理・広報・機材・備品・採用（人材募集）ファンドレイジング

## 2 こくふ福祉の村

### 就労継続支援B型事業所ファースト（大豊町）の移転計画（未定）

- ・行政、地域との共働  
「プロジェクトチーム（関係諸機関・地域関係者・土佐厚生会役職員で構成）」  
平成 30 年 4 月 発足
- ・事業計画・予算作成（助成金活用）・資金調達（福祉医療機構、民間金融機関）
- ・予算管理・契約管理・広報・機材・備品・採用（人材募集）ファンドレイジング

### 小規模作業所ファーモニーの経営

平成 22 年 9 月 1 日、財団法人 JKA（オートレース公益資金）による補助金を受け、高知市新本町 2 丁目（高知駅より徒歩 3 分、高知赤十字病院前）に於いて、小規模作業所ファーモニーが開設され、5 名の障がい者の方々の就労訓練が開始された。以後、知的障がい者 1 名、精神障がい者 2 名の方々を一般就労（当法人内施設の生活支援員として雇用）へと導いた。しかしながら、店舗事業は想定外の人件費の圧迫により、平成 26 年度より休止を余儀なくされた。その後地域住民の方々より、憩いの場としての店舗再開の要望が法人本部に多数寄せられ、平成 27 年度より事業再開に伴う準備を進め、職業指導員の確保と店舗改装が完了、開設当初より人員を削減し、平成 28 年 4 月に正式にリニューアルオープンを果たした。事業内容としては、店舗運営のみならず、やながれ福祉施設センターの各事業所から、昼食弁当を受注するなど、職業指導員 1 名と店舗スタッフ 1 名の計 2 名の少数精鋭で運営している。高知駅周辺にお住まいの方々や勤務をされているの方々、遠路大豊町から日赤病院に通院をされているの方々などのやすらぎの場として、地域貢献を果たすとともに、やながれ福祉施設センターに勤務するスタッフの福利厚生にも一役買っている。法人本部はもとより各事業所との連携を密にしながら、店舗経営の安定と活性化を図るものとする。

## 1 S T A F F

施設長（他事業所との兼務・食品衛生責任者）1 名 職業指導員 常勤 1 名  
店舗スタッフ（障がい者）1 名

## 2 運営基本方針

土佐厚生会の会是である、「愛情」・「奉仕」・「連帯」の精神を遵守し、人権の尊重とプライバシーの保護に努めるとともに、障がい者が働きながら地域において自立した生

活ができるよう、主体的意欲と作業能力を尊重した支援を行う。そして、安全で安心できる日常生活を営むことができるよう、支援スタッフが地域との連携を図りながら総合的な支援活動を行い、施設長がそれを統括する。

### 3 店舗スタッフへの支援

#### (1) 就労援助

店舗スタッフ個々の障がい特性に配慮し、本人の働く意欲と作業能力を尊重すると共に、適切な作業マニュアルを作成し、安全で安心できる職場環境を構築する。

安定した売り上げの確保を目指すと共に、店舗スタッフの所得向上を図る。

#### (2) 生活援助、健康管理

年 1 回の健康診断を実施し、店舗スタッフ個々の心身の健康状態を常に把握しながら、日常生活に於ける諸相談や援助を行うと共に、各関係機関との連携を密にしながら、店舗スタッフそれぞれが自立した地域生活が送れるよう適切な支援を行う。

#### (3) 個人情報の保護と虐待防止の遵守

個人の尊厳を旨とし、業務上知り得たスタッフの個人情報は「土佐厚生会個人情報保護の基本方針」に従い厳重に管理する。店舗スタッフに対する虐待を防止するための必要事項を定めた「土佐厚生会虐待防止委員会運営要綱」を遵守するとともに、虐待の防止に当たっては、「虐待防止対策委員会」の機能を十分に発揮させ、迅速かつ適切な処置を講ずるよう努める。

#### (4) 食品衛生責任者の責務

食品衛生責任者は、施設内の設備及び機械器具等の清掃、洗浄及び消毒を有効な方法で行う等、日常点検を含む衛生管理を計画的に実施し、以下に留意する。

- ① 食品の取扱いに於いては、適切な受注管理と製造、提供に努め安全衛生管理に留意する。また 0-157 やノロウィルス、新型インフルエンザ等の流行期には適切な予防と早期の対策手段(感染症対策マニュアル)を以て感染の防止を図る。
- ② 施設及びその周辺は、定期的に清掃、整理整頓を行い環境の整備に努め、施設の稼働中は常に衛生上支障のないように維持をする。
- ③ 施設内の採光、照明及び換気を十分に行うと共に、必要に応じ適切な温度及び湿度の管理を行い、食中毒の予防に努める。
- ④ 苦情発生時の対応については、製品の不良によるものか、お客様の誤解によるものなのか、どちらにし
- ⑤ ても相手の言い分を十分に聴き取り、適切に判断をし、責任ある立場のものが十分な説明と誠意を持って対応する。
- ⑥ 知事が実施し、または適正と認めた講習会を定期的受講し、常に食品衛生に関する新しい知識の習得に努める等、スタッフの健康管理から施設管理まで、責務は多岐にわたる。

#### (5) 業務改善提案表彰制度の取り組み

施設内外の業務内容についての手法や手順、作業（業務）環境及び安全衛生管理に対して常に問題意識を持ちながら改善を図り、食中毒や労働災害等の防止、販売売上の向上と店舗経営の安定に役立てることを目的とする。ただ漫然と仕事をすすめていくのではなくムリ・ムラ・ムダを無くすための発想転換や 創意工夫を行い、施設の活性化を図る。

#### 4 飲食等の提供と販売活動

##### ① 飲食の提供と物販

定食・ライスカレー・大豊町特産品・授産品等の販売  
やながれ福祉施設センターへの昼食弁当の販売

##### ② 店舗・機材等の貸切りと飲食の提供

オーディオシステム・ギター・その他機材の貸出しとメニュー等の提供

##### ③ 販促チラシの作成と配布・Facebook の継続・イベント情報の提供と実施

#### 5 防災計画

こくふゾーン内の施設との連絡連携を密にし、協力体制を維持しながら、障害者支援施設こくふの実施する防災訓練に参加するなど、年間を通して避難誘導及び消火訓練を1回、地震訓練を1回実施する。

- ・総 指 揮                    施設長（防災管理者）
- ・連絡及び報告担当        職業指導員
- ・救助担当                   全 員

#### 6 日 課

開 店 準 備	9 : 0 0 ~ 9 : 3 0
開 店	1 1 : 3 0 ~
昼食・休憩	1 1 : 3 0 ~ 1 3 : 3 0 (各々が交替で計60分の休憩)
清 掃	1 5 : 0 0 ~ 1 5 : 4 5
閉 店	1 5 : 0 0
終 業	1 6 : 1 5

#### 7 スタッフの配置状況

職 名	備 考
施 設 長	福祉施設士・社会福祉主事・サービス管理責任者・食品衛生責任者 甲種防火管理者
職業指導員	社会福祉士・介護福祉士
主 事	簿記検定2級、社会福祉社会計簿記講座（中級）

## 8 行事

6月	こくふゾーン歓送迎会
8月	こくふ福祉の村まつり
12月	こくふゾーン忘年会

## 9 ボランティアの受入と参加

施設のスタッフは、地域の一員として、地域住民及び地域関係者との緊密な連携を維持すると共に、地域活動の活性化に寄与する。

## 10 職員研修

施設の適正な運営を図るため、関係スタッフの資質向上に努め、法人本部と協議のうえ、系統的且つ効果的な研修を、必要に応じて実施する。

## 11 資金計画

法人本部と協議のうえ実施。

# 障害者支援施設こくふ

## I 基本方針

全職員が関係法令を遵守し、土佐厚生会の会是である「愛情」・「奉仕」・「連帯」の精神を心の拠り所として、利用者様やご家族の心情に寄り添いながら、支援にあたることを基本方針とします。

## II 目標

「気付きと変化でつながる和」をスローガンとして、職場環境の改善に努めると共に、利用者様が更に安心して生活できる施設を目指します。

## III 事業計画

- 1 利用者様の確保に努め、施設経営の安定を図ります。
- 2 働きやすい職場環境、風通しの良い風土づくりに努めます。
- 3 ノーリフティングケアの推進を図り、職員の腰痛予防に努めます。

## IV 具体的取り組み

- 1 施設経営の安定
  - 【目標数値：稼働率 95%以上】
  - (1) 新規利用者の獲得と待機者の早期入所調整に努めます。
  - (2) 月毎の収支状況を朝礼等で報告し、コスト意識を高めると共に、施設経費を前年度比 3% 削減に努めます。
  - (3) 障害支援区分見直しの早期依頼に努めます。
- 2 職場環境の改善とスキルアップ
  - (1) 居室担当を個別担当制に変更すると共に、号棟に偏らない業務配置の実施により、良好な人間関係の構築、やりがいの持てる職場をめざします。
  - (2) 管理職との面接を年 2 回行い、職員の現状把握に努めます。
  - (3) 業務手順書・マニュアルの完成を目指します。
  - (4) 施設内外の研修を通して職員のスキルアップを図り、サービスの向上に努めます。
- 3 ノーリフティングケアの推進
  - (1) 福祉用具の適切な使用を目指します。
  - (2) 福祉機器使用手順書の整備を行います。
  - (3) ノーリフトに関する知識・技術研修を開催し、意義の統一を図ります。

# 障害者支援施設あき

## I 基本方針

法人の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、利用者様の人権を尊重したサービスの質の向上を図りながら、施設に関わる方、地域の方々との信頼関係の構築に努め、安定した施設運営を目指します。

## II 目標

「いつだって、笑顔はこころの潤滑油」を施設のスローガンとして、やさしい笑顔とまごころのある対応を心掛け、施設に関わる全ての人々が安心でき笑顔になる、健全であたたかな組織づくりに努めます。

## III 事業計画

- 1 施設経営の安定を図る為に、利用者数 45 名確保を目指します。
- 2 安心、安全な生活を送れるよう、提供するサービスの質の安定と向上に努めます。
- 3 状況に応じて判断し行動できる人間力を持った職員の人材育成に取り組みます。
- 4 ご家族、関係機関との交流を深め、より良い信頼関係の構築を図ります。

## IV 具体的取り組み

- 1 施設経営の安定を図る為に、利用者数 45 名確保を目指します。
  - (1) 新規利用者獲得に向けて、関係機関へ働きかけていきます。
  - (2) 新規利用者獲得に向けて、迅速な受け入れ態勢を整えます。
- 2 安心、安全な生活を送れるよう、提供するサービスの質の安定と向上に努めます。
  - (1) マニュアル等の整備を行い、記憶に頼る体質から記録に残す習慣への変革を図ります。
  - (2) 利用者様の意向に寄り添った個別支援、マニュアル作成を行い、安定かつ継続したサービスを提供していきます。
  - (3) リスクマネジメントに対する知識・意識の向上を図り、インシデント発生後に対策を実施するまでの期間短縮を目指します。
- 3 状況に応じて判断し、行動に移せる人間力を持った職員の人材育成に取り組みます。
  - (1) 目標・育成面接、OJTを活用しながら、各個人に求める役割を明確化し、実践につなげていきます。
  - (2) 研修を通し、専門知識・技術の習得と、コンプライアンスの推進を図ります。
- 4 ご家族、関係機関との関わりを深め、より良い信頼関係の構築を図ります。
  - (1) ご家族、関係機関への報告、連絡、相談の徹底を図ります。
  - (2) ご家族が参加できる行事を計画し、交流を深める機会を増やします。

# 障害者支援施設とさ

## I 基本方針

関係法令を遵守し、法人の基本理念たる『愛情・奉仕・連帯』に基づき、地域への貢献を念頭において、平成 30 年度事業計画の達成を目指します。また利用者様の人権の尊重と自己決定、自己選択の保障およびその自立に向けた支援に努め、利用者様が安心・安全な生活と社会参加ができる支援を目指します。

## II 目標

「地域の福祉拠点」を施設のスローガンとして、社会福祉法人の原点である地域への奉仕、地域特有の福祉ニーズに対応できる施設作りを目指します。

## III 事業計画

- 1 利用者様の思いを大切にされた個別支援計画の作成に努めます（サービス管理部門）
- 2 接遇技術・介助技術を高め、質の高いサービスの提供に努めます（生活支援部門）
- 3 健康管理をしながら、安心・安全な生活の支援に努めます（看護部門）
- 4 計画書に基づいてリハビリを実施、機能低下の防止に努めます（リハビリ部門）
- 5 利用者様の健康・嗜好を考慮しながら、安心・安全な食事の提供に努めます（給食部門）
- 6 報告・連絡・相談・確認を密に連携とチームワークで、良質で円滑なサービス向上と業務改善に努めます（事務部門）

## IV 具体的な取組み

- 1 職員満足向上の目標【働きたい職場にする】  
達成水準：職員定着率 95%以上  
達成手段：①人事考課面接・身上調書面接により、帰属意識向上を図る。  
②職場内研修・OJTにより、スキル向上と部署間連携向上を図る。  
③気軽に相談できる体制を整え、職員のストレス軽減を図る。
- 2 利用者満足向上の目標【充実したサービス提供を行う】  
達成水準：稼働率目標 98%以上  
達成手段：①未実施の加算サービスを提供し、サービス内容を充実させる。  
②全職員月 1 件以上の改善提案を目指す。  
③個別支援計画により、個別ニーズの支援を充実させる。
- 3 経営満足向上の目標【利用単価と稼働率の向上による増収を図る】  
達成水準：稼働率目標 98%以上  
達成手段：①未実施の加算サービスを提供し、利用単価を上げる。  
②入所定員 5%枠を活用して入所者在籍数、常時 50 名を目指す。  
③新規の生活介護サービスの通所者を増やす。

# 特別養護老人ホーム八流荘

## I 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」・「奉仕」・「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者に対して、個人の尊厳や希望、置かれている環境、年齢および心身の状況等に応じた多様な福祉サービスを提供することにより、高齢者が住みなれた地域で社会の一員として自立した日常生活をすると共に、社会参加の実現を図るために適切な支援にあたることを基本方針とします。

## II 目標

多職種協働により安心して心豊かに生活できる環境をつくり、利用者様やご家族、地域から信頼される施設運営を行います。

## III 重点取り組みテーマ

1 施設経営の安定	2 チームケアの強化	3 余暇活動の充実
4 ノーリフティングケアの推進	5 地域福祉の形成	

## IV 事業計画

### 1 施設経営の安定

(1) 介護保険制度改正の内容を注視し、取得可能な加算報酬が算定できるように体制を整備する等の対策を講じることで、安定的な施設運営に繋がっていきます。

【目標稼働率：90%（短期入所を含む）】

### 2 チームケアの強化

(1) 職員間の情報共有を密にすることで早期発見・早期対応に努め、利用者様が安心した生活が送れるよう支援していきます。

(2) 重度化する利用者様の急増を見据え、多職種連携による医療的ケアや看取りケアの充実に取り組みます。

### 3 余暇活動の充実

(1) 利用者様の特性に配慮した余暇活動や、日常生活の活性化に繋がる余暇時間の充実に図り、計画的に実施していきます。

### 4 ノーリフティングケアの推進

(1) 福祉機器の導入や福祉用具の活用をすすめ、利用者様にも職員にも負担の少ない介護を目指します。

### 5 地域福祉の形成

(1) 地域の福祉課題に積極的に向き合い、施設の機能や専門性、ノウハウを活かした公益活動に取り組んでいきます。

(2) 継続的にボランティアや職場体験学生を受け入れ、地域の方々との交流を図り、施設の情報等を発信することで開かれた施設を目指します。

# デイサービスセンターやながれ

## I 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じたサービスを提供することにより、住み慣れた地域で自立した生活ができ、社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等にも参加できるよう支援をおこないます。

## II 目標

「小さな気遣い 大きな信頼」を年間スローガンとして、利用者様やご家族、スタッフ同士の信頼関係の構築につとめます。

## III 事業計画

- 1 法人の理念と経営方針をふまえ、責任と使命を果たす組織づくりを継続し、スタッフ一人ひとりに高い倫理観と規範意識を促してコンプライアンスの推進につとめます。
- 2 利用者様に対する人権の尊重とプライバシーの保護につとめるとともに、接遇研修等によりコミュニケーションスキルを向上させ、安心感のあるサービス提供につとめます。
- 3 利用者様の意向を尊重し、その人らしく、安全で安心して生き生きと自立生活ができるように介護、相談などの支援につとめます。
- 4 加齢に伴う心身の機能低下を防止するようにつとめるとともに、健康で心豊かな日常生活を送ることができるよう支援します。
- 5 高齢者の方々の社会的役割を促すとともに、社会的、文化的活動に参加できるサービスの提供につとめます。
- 6 地域の保育園や学校、地域住民との連携を深め、交流事業をおこなうことで地域福祉の推進につとめます。

## IV 具体的取り組み

- 1 スタッフ満足向上の目標：達成感と成長が実感できる職場づくり  
達成水準：業務改善の推進と業務マニュアルの見直し及び業務手順書の作成  
生活総合機能改善機器の習熟
- 2 利用者満足向上の目標：安全で安心して日常生活を送ることができる生活環境の提供  
達成水準：接遇研修（2回／年）、KYT（AKT）訓練の実施（2回／年）  
利用者満足度調査の実施
- 3 経営満足向上の目標：経営基盤の安定  
達成水準：平均利用延人数 400名／月、平均稼働率 73％／月  
中重度者ケア体制加算の再取得

# ホームヘルプステーションやながれ

## I 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じたサービスを提供することにより、住み慣れた地域で自立した生活ができ、社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等にも参加できるよう支援を行います。

## II 目標

「小さな気遣い 大きな信頼」を年間スローガンとして、利用者様やご家族、スタッフ同士の信頼関係の構築につとめます。

## III 事業計画

- 1 法人の理念と経営方針をふまえ、責任と使命を果たす組織づくりを継続し、スタッフ一人ひとりに高い倫理観と規範意識を促してコンプライアンスの推進につとめます。
- 2 利用者様に対する人権の尊重とプライバシーの保護につとめるとともに、コミュニケーションスキルを向上させ、安心感のあるサービス提供につとめます。
- 3 利用者様の意向を尊重し、その人らしく、安全で安心して生き生きと自立生活ができるように介護、相談などの支援につとめます。
- 4 加齢に伴う心身の機能低下を防止するようにつとめるとともに、健康で心豊かな日常生活を送ることができるように支援します。
- 5 高齢者の方々の社会的役割を促すとともに、社会的、文化的活動に参加できるサービスの提供につとめます。

## IV 具体的取り組み

- 1 スタッフ満足向上の目標：達成感と成長が実感できる職場づくり  
達成水準：スタッフ体制の充実（ヘルパー1名の確保）  
業務の標準化への取り組み  
居宅ケアマネージャーと連携して課題事例への取り組み推進
- 2 利用者満足向上の目標：安全で安心して日常生活を送ることができる生活環境の提供  
達成水準：事業所内研修計画の立案と実施  
利用者満足度調査の実施
- 3 経営満足向上の目標：経営基盤の安定  
達成水準：平均延訪問回数 420 回／月、平均稼働率 95％／月

# 小規模多機能型居宅介護事業所 南風

## I 理念

土佐厚生会は、会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される障害者、高齢者に対して、個人の尊厳、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じた多様な福祉サービスを提供することにより、これらの人々が住み慣れた地域で、社会の一員として自立した日常生活をすると共に、社会、経済、文化、その他のあらゆる分野での活動等に参加できるよう支援を行うものとします。

## II 目標

「その人がその人らしく笑顔で過ごせる安心した居場所作り」

地域との繋がりを大切にしながら、利用者様が生きてきた人生そのまま、その人らしさを失わず、最期まで安心してご自宅で暮らしていただけるように支援をします。

## III 事業計画

- 1 利用者様の自己決定を尊重し、利用者様が主体的に生活に関わっていただけるよう努めます。  
(介護)
- 2 ご家族や地域との関係を大切にしながら、住み慣れた土地で安心して暮らしていただけるように支援します。(介護)
- 3 利用者様の生活機能の維持、向上に努めます。また、身体状況に応じた栄養バランスのとれた食事提供を行います。(看護)
- 4 利用者様の目標（ゴール）、利用者様の当面の目標（～したい）を明確にし、日々のかかわりができるようにします。(介護支援専門員)
- 5 収支のバランスに考慮しながら、効率的な事業運営に努めます。(管理)

## IV 具体的取り組み

- 1 利用者様のこれまでの生活スタイル、人間関係等を理解するため、情報シートを作成します。
- 2 利用者様の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等の把握をします。
- 3 季節ごとの行事と、旬の食材を使った料理の提供や外出イベントを行います。  
年3回の地域との交流行事（七夕祭り、縁日、浜弁当）を行います。
- 4 事故ゼロを目指し、ヒヤリハットやインシデントを分析する事で重大事故を未然に防ぎます。
- 5 登録定員20名を目標とします。(稼働率80%)  
行政、医療機関等への広報活動や、民生委員から、地域の高齢者の情報を得る等の取り組みをします。

# 在宅介護支援センターやながれ

## I 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、福祉サービスを利用される高齢者の方々に対して、個人の尊厳を旨とし、利用者様の希望、置かれている環境、年齢及び心身の状況等に応じたサービスを提供することにより、これらの人々が住み慣れた地域で社会の一員として自立した日常生活をするとともに社会、経済、文化、その他あらゆる分野での活動等に参加できるように支援を行うものとします。

## II 事業目標

マネジメント技術の向上を図り、法人内事業所との協働により利用者様やご家族、地域から信頼される事業所運営を目指します。

## III 事業計画

- 1 制度の改定内容、東部地域の介護保険情勢を把握し、法人内事業所との協働による事業所経営の安定を図ります。
- 2 地域の行事への参加、地域住民や民生委員との交流を通じ地域高齢者のニーズを把握し、サービス計画作成や、介護保険制度の紹介などを通して地域福祉へ貢献します。

# 就労継続支援 B 型事業所 ウィール社

## I 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、個人の尊厳を重んじ人権の尊重に努め、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添っていく支援を行っていきます。

## II 目標

「気付きと変化でつながる和」をスローガンとし、利用者様・ご家族・職員間の信頼関係が築けるように努めます。また、障がいのある方が地域で自立した生活を可能にするための生活支援を行い、利用者様にとって一番いい「働き方」を提供します。

## III 定員、作業時間、職員配置状況

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 1 利用定員   | 20名              |
| 2 作業時間   | 8:30 ~ 16:00     |
| 3 職員配置状況 | 職員常勤 7名 職員非常勤 2名 |

## IV 事業計画

- 1 個別支援計画に基づき、自立生活への支援を行います。利用者様のニーズと課題、目標や支援方法、手段等を明確にし、利用者様、ご家族、支援者が共通認識で実践できるようします。
- 2 利用者様個々の健康状態や心身の状態の変化を把握すると共に、必要に応じご家族や行政、医療機関と連携することに努めます。
- 3 利用者様の自治会や家庭生活での役割を掌握し、その役割が遂行できるように、また社会人としての社会生活力を高めるよう支援します。
- 4 こくふ福祉の村まつりへの参加、クリスマス忘年会等の行事を行います。また、少人数グループ分けでの外出活動を実施し、利用者様により一層満足してもらえるように努めます。
- 5 職種間で業務を支えあう体制を整え、有給休暇が取得しやすい体制づくりを目指します。
- 6 契約利用者が 25 名になるように努め、1 日平均 21 人以上の通所を目標とします。
- 7 業務手順に関するマニュアル化の整備を行い、技術の伝承が可能な仕組みづくりをします。
- 8 職員の研修を行い、就労継続支援 B 型事業所の職員としての資質の向上と育成に努めます。
- 9 地域小学校の総合学習の実習施設としての協力、学生の現場実習教育の受入等に努めます。
- 10 授産活動での収益と顧客の増加に努め、利用者様の平均工賃は前年度を上回ることを目標とし、月 23,000 円以上を目指します。
  - (1) 編集・印刷: データ管理及び作業システムの構築をすることでコストの削減を図ります。
  - (2) 受託作業: 安定した作業の確保と利用者様それぞれの特性に応じた作業を提供します。
  - (3) 営業活動: 営業活動を積極的に行い、障害者優先調達法の周知活動を継続し、受注増を目指します。精米については、収支の改善を図るため、農家より直接仕入れの割合を増やします。

# 就労継続支援B型事業所 カトレア

## I 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を誠実に実践すると共に、ノーマライゼーションの理念に基づき、利用者様の置かれている心身の状況や生活環境など、その実情を深く理解し、社会適応訓練や就労継続支援の充実に努めます。

## II 目標

事業計画を具体的に実施できるよう職員間で共有を図り、利用者様や地域、取引先、行政機関等と構築してきた信頼関係を永く継続していくため、「信頼の継続」をスローガンとして職員全員で努力します。また、利用者様やご家族、職員、皆が幸せな生活を送れる様に、毎日の活動を行います。

## III 定員、作業時間、職員配置状況

- |          |      |    |          |
|----------|------|----|----------|
| 1 利用定員   | 20名  |    |          |
| 2 作業時間   | 9:00 | ～  | 16:00    |
| 3 職員配置状況 | 職員常勤 | 7名 | 職員非常勤 3名 |

## IV 事業計画

- 1 利用者様が地域社会の一員として自立生活を送るため生活面の支援と就労に必要な知識、及び技能を高めると共に、施設の環境整備を整え利用者満足度を高める支援を行います。
- 2 利用者様一人ひとりの人格を尊重して、自己選択、自己判断、自己選択の保障をし、就労継続支援と社会生活支援を個別支援計画に基づき行います。
- 3 授産活動では、新規顧客の増加と収益増に努めます。売上目標は23,000,000円とし、利用者様の平均工賃は前年度を上回ることを目標とし、月19,000円を目指します。

### (1) 食品加工

- ・利用者様それぞれの能力、特性に合った作業や環境を提供し、やりがいを引き出す支援を行います。
- ・オリジナル商品の開発や、新規販売先の開拓に努め、年間売上額2,500,000円を目標とします。

### (2) 乾燥工場

- ・地元生姜仲卸会社からの洗浄作業を毎日行い、安定した売上額を確保します。
- ・サニーフーズとの安定した取引を行うために、予冷庫を整備し、原料の安定供給や経費の削減を行い、年間売上額17,500,000円を目標とします。
- ・JAや地元取引業者からの委託作業を積極的に受注し、増収増益に努めます。

(3) 喫茶

- ・一日平均売上定食数 20 食を目指し、年間売上 2,800,000 円を目標とします。
- ・障害者支援施設とさの利用者様対象のミニ売店や、法人内研修の弁当提供、各イベントへの出店等を行い、売り上げの増加に努めます。

(4) 空調

- ・障害者支援施設とさの空調清掃を年間 2 回請負う事により、年間売上額 205,200 円を確保します。

- 4 利用契約 30 名（定員 20 名）を確保し、稼働率 115%（H29 年度 11 月末現在 114%）を目標とします。
- 5 日帰り旅行や涼風祭への参加、花見・成人の祝い・新年会等の行事を行います。また、第 3 土曜日を通所日とし、午後から余暇活動を行います。利用者様・ご家族の交流や利用者様の社会参加に努めます。
- 6 職員研修を実施し、土佐厚生会の職員としての資質の向上と育成に努めると共に、レベルの高い専門性・組織性・常識性のバランスのとれた職員の育成に努めます。また、外部研修に参加することにより、他事業所との情報交換や知識の向上を図ると共に、職員満足度を高めていきます。
- 7 養護学校高等部の主催するイベントや研修に参加すると共に、学生の実習を積極的に受け入れ、学校との連携を深めていきます。

# 就労継続支援B型ワークセンター ファースト

## I 基本方針

土佐厚生会の会是である「愛情」「奉仕」「連帯」を基本理念とし、個人の尊厳を重んじ人権の尊重に努め、一人ひとりのニーズや思い、希望に寄り添っていく支援を行っていきます。

## II 目標

「気づきと変化でつながる和」をスローガンとし、利用者様・ご家族・職員間の信頼関係が築けるように努めます。また、障がいのある方が地域で自立した生活を可能にするための生活支援を行い、地域での社会生活や社会参加への推進のための支援をします。

## III 定員、作業時間、職員配置状況

- |          |                  |
|----------|------------------|
| 1 利用定員   | 10名              |
| 2 作業時間   | 9:30 ~ 16:00     |
| 3 職員配置状況 | 職員常勤 4名 職員非常勤 1名 |

## IV 事業計画

- 1 利用者様一人ひとりの人格を尊重して、自己選択、自己判断、自己決定の保障をし、就労継続支援と社会生活支援を個別支援計画に基づき行います。
- 2 利用者様の稼働率アップに取り組みます。  
契約利用者が12名になるように努め、1日平均9名以上の通所を目標とします。
- 3 社会参加や地域との交流機会を増やします。  
あったかハートふれあい大会、大豊町文化祭などの地域イベントに参加して、販売活動に努めます。
- 4 ファーストの仲間づくりと社会生活力増進に努めます。  
花見や社会見学、外出時の買い物等の機会を増やして生活者としての経験を積み、個人でも活動が出来るように支援します。
- 5 町村が受給者証を発行する65歳以上で、手帳の保持なく介護保険の適用とならない、作業が可能な方の受け入れをしていきます。
- 6 嶺北地域の事業所と連携して作業等を行い交流していきます。
- 7 今夏施設を移転します。  
利用者様への負担や不便にならないよう努めます。

8 就労活動での収益と顧客の増加に努め、就労収益の黒字と工賃アップを目指します。

- (1) ミニパック株式会社：衛生用品の不純物の取り除き、袋詰め
- (2) 菊水酒造株式会社：お酒の化粧箱へのシール張り、掛け紙折り等
- (3) 銀の市：大豊町特産の銀不老豆選別・袋詰め
- (4) 大豊町碁石茶協同組合：碁石茶の選別・袋詰め等
- (5) 松田医薬品株式会社：入浴剤封入、のり貼り
- (6) 株式会社末広：贈答用箱折り、包装資材カット等
- (7) 印刷：嶺北地域からの印刷受注窓口、配達
- (8) 地域イベント：食品、果物（新高梨、文旦等）や銀不老菓子類等の販売



# 相談支援センター アルペジオ

## I 基本方針

会是である「愛情」「奉仕」「連帯」の精神を遵守して、人としての尊厳を重んじ、一人ひとりに思いやりと気遣いのできる適切な支援につとめます。そして、利用者様の想いやその時々的心情に寄り添い、信頼関係を深めるよう努めます。

## II 目標

特定相談支援事業所の円滑な運営を行うとともに、常に利用者様の立場に立ち、適切な計画相談支援の提供に努めます。

## III 事業計画

- 1 土佐厚生会を利用されている利用者様を中心に、サービス利用計画案の作成や定期的なモニタリングの実施に努めます。
- 2 他の相談支援事業所との事例検討会や研修に積極的に参加し、相談支援専門員としての専門性の向上に努めます。
- 3 関係機関等とのスムーズな連携を図り、地域に根ざした事業所を目指します。

# 国府寮診療所

## I 基本方針と目標

この診療所は、指定医療機関としてこくふゾーンの利用者様及び地域住民にも開かれた診療所として開設されている。その機能を最大限に発揮して利用者様や地域住民の医療的支援をはかる。

## II 事業計画

- 1 安全で安心して快適な生活ができるよう、従事者の勤務体制を整え、従事者相互が報告、連絡、調整をはかりながら、利用者等に対する医療的ケアをはかる。
- 2 内部患者の増加、加齢に伴う高血圧、糖尿病など生活習慣病などの予防指導および治療につとめる。
- 3 罹患者の早期発見と早期治療につとめるとともに、利用者様および扶養義務者等への協力、支援を求めるよう努力する。

# 安芸療護園診療室

## I 基本方針と目標

この診療所は、指定医療機関としてやながれゾーンの利用者様及び地域住民にも開かれた診療室として開設されている。その機能を最大限に発揮して利用者様や地域住民の医療的支援をはかる。

## II 事業計画

- 1 安全で安心して快適な生活ができるよう、従事者の勤務体制を整え、従事者相互が報告、連絡、調整をはかりながら、利用者等に対する医療的ケアをはかる。
- 2 内部患者の増加、加齢に伴う高血圧、糖尿病など生活習慣病などの予防指導および治療につとめる。
- 3 罹患者の早期発見と早期治療につとめるとともに、利用者様および扶養義務者等への協力、支援を求めるよう努力する。

